

中宮北小学校統廃合問題検討委員会との協議について

日時：平成 30 年 4 月 17 日 17:40～19:30

参加者

＜中宮北小学校統廃合問題検討委員会＞

3 名

＜教育委員会＞

森澤総合教育部長、畑中学校規模調整課長、
松尾学校規模調整課課長代理、
田中学校規模調整課係長

今後の高陵・中宮北小学校の統合の進め方について協議を行った。

【いただいたご意見】

- ・ 答申の内容は、保護者や地域に納得いくようなものになっていない。
- ・ 高陵小側と両コミュニティ同士で事前協議できる体制づくりをしてほしい。
- ・ 良い学校づくりのためなら、出来るだけ早く前に進めたいと思っている。
- ・ コミュニティの問題も解決できるように取り組んでほしい。学校の統合と、コミュニティの統合の課題は分けて取り組むべきで、例えば、窓口を教育委員会と本庁で分けるのも一つの手法である。
- ・ 災害などが発生したときに、高齢者は高陵小まで避難できるのか。高陵小の坂の下に避難所を作り、坂の下と坂の上で避難所を分ける方法や、中宮北の跡地に避難所を設置するなど、避難所対策についても様々な検討が必要である。
- ・ 「統合すると学校、PTA、コミュニティはこうなります」といった説明のあと、住民に投票してもらい、統合に 7 割以上の賛成票で進めていくというような方法がいいのではないかと考えている。
- ・ どちらに統合校を設置するかについては、答申の 5 つの観点のみではなく、コストや財政面など経済性の観点からの説明も必要である。
- ・ 小中一貫方策もおさなりになっており、中長期的な学校のあり方がよくわからない。今後、更に児童が減少する中で、殿一校区を含めた将来像を計画しておく必要があるのではないか。

- ・校区の見直しで対応できないのはなぜか。例えば、分校制度で解決できないのかなど答申の再評価をすべきである。
- ・コミュニティやPTAが概ね納得できれば、統廃合問題検討委員会やPTA会長が残った反対者に対して説得できるのではないかと考えている。
- ・人数が多い方が少ない方へ移るというマイナスのイメージがある。
- ・高陵小の法面に児童が物を投げる可能性がある。また、高陵小は留守家庭が校舎から離れていることや、バリアフリーになっていない問題がある。そのような課題に対して建て替えなどで対応すべきである。
- ・統合後、学校開放事業はどうなるのかも、今後説明が必要ではないか。
- ・今在学している生徒は中宮北小で卒業させ、新しく入ってくる生徒から、学校が移るようにしたほうがよい。途中で学校が移ることを知るのと、最初から分かっているのとでは違う。また、そうしたほうが話しの入ってこない幼稚園の保護者も納得できるのではないか。
- ・「枚方市全体として今後の学校プランがあり、その先駆けが高陵、中宮北の統合です。」というようなことが説明できると納得しやすいと思う。
- ・外大の宿舎から高陵小が丸見えというのは気になるところである。